

## 1 施設の操業状況について

### (1) 月別搬入実績

**資料1** 資源物中間処理施設の操業状況について

- ・搬入車両は、1日あたり平均37台程度
- ・10月は9月と比べ、容リプラ、ペットとも搬入量は減少

### (2) 令和元年度上半期と令和2年度搬入量の比較

**資料2** 令和2年度上半期（4月から9月）と令和2年度の搬入量比較

令和元年度の6月～9月まで6か月間（上半期）の実績

と令和2年度の上半期の実績を比較した。

ペットボトル：約26t、5%の増 容リプラ：約130t、6.7%の増

原因：いわゆる巣ごもり需要による食材のテイクアウト（容器包装）の増か。

処理：施設は順調に稼働しており、処理が滞ることはない状況。

## 2 主な出来事について

### (1) 搬入物展開検査 9月7日（月）～9日（水）

**資料3** 分析結果報告書

- ・ペットボトルに異物（金属など不燃系の不適物）の混入はなかった。
  - ・武蔵村山市の不適物量が多いが、キャップ付きはなかった。
  - ・依然、不適物（容器包装では無いプラ、汚れなどがある可燃性の不適物）が混入
  - ・不適物・異物は、特定の袋に入っている印象（片山）→一部の市民が混入か。
- なお、11月16日（月）から予定していた展開検査は延期とした。

### (2) 計量機（トラックスケール）点検 10月17日（土）入口、24日（土）出口

### (3) 異臭の発生

11月19日（木）11：35頃 選別室で異臭が発生

運転一時停止→アルカリ水溶液で洗浄後、残留異臭の経過観察→14：30運転再開

なお、VOCの濃度の異常はなかった。

## 3 意見交換